

市長と話そう会（共同参画ネットワークたけお）

日 時：令和6年7月23日（火）

13：30～15：00

場 所：武雄市役所 4階会議室

参加者：共同参画ネットワークたけお 19名



市民のみなさまと市長が直接語り合う「市長と話そう会」第35回は、「共同参画ネットワークたけお」のみなさまと、新文化交流施設、大学誘致とまちの姿、観光、農業、女性の活躍等について幅広く意見交換しました。以下抜粋して掲載します。

#### ○新文化交流施設について

（参加者）

・現在の図面等を見ると、会議に使用できる小部屋やサークル活動等での道具や作品を収納できるスペースが少ない。

（市長）

・新しい文化交流施設では、高齢者の方々にお使いいただくことはもちろん、若い人にもっと利用してもらい、いろんな世代がつながる場となればと思っている。そのために、幅広い人たちの幅広い使い方として、例えば「スタジオ」という名称でも会議室として利用してよいし、オープンスペースなども含めて空間全体を利用できるという考え方をしていただきたい。一方で、個室として必要な場合も想定されるので、デッドスペースの活用など工夫してみたい。

#### ○大学誘致とまちの姿について

（参加者）

・大学ができるに当たって、外国人留学生を受け入れる体制づくり（外国語による案内看板、学生寮、アルバイトなど働く場の確保など）について、計画はあるか。

（市長）

・市役所の窓口の多言語化を進めていくほか、働く場を作れるよう市内事業者に働きかけてみたい。地域になじめるようにするには、地域の支援も必要になる。そういった市民力の部分では、ぜひみなさまのお力を借りたい。

#### ○観光について

（参加者）

・西九州新幹線で、武雄温泉駅に立ち寄ってもらう仕組みづくりができないか。

（市長）

・武雄温泉駅に降りてもらえるような魅力的なコンテンツ、武雄温泉駅を拠点に周遊してもらえ

るような仕組みづくりが必要で、「武雄旅書店」はその一つである。その他、武雄に親しみを持っていただけるような取り組みが必要であり、たとえば英語圏の外国人が増えているので、高校生の英語ボランティアで観光案内をするなど、市民の方が気軽に参加できる仕組みを考えていきたい。

#### ○農業について

(参加者)

- ・農業における高齢化が進んでいる。農業を活性化する取り組みはあるか。

(市長)

・農業はいのちとくらしを守るものであり、減災の観点からも農地の保全は大切である。一方で、担い手不足もあり、今後これまで同様すべてを維持し続けるのは難しい。農業の地域計画において、10年後の農業のあり方を考えてもらっている。省力化や集約化を行い、最適な地域農業の継続に取り組んでいきたい。

#### ○市役所における女性職員の登用について

(参加者)

- ・武雄市における女性の部長級は1人である。女性登用について教えてほしい。

(市長)

・市役所職員全体における女性の管理職比率は20%ほどであり、県内でもトップクラス。就任時は一桁台だったが、まずは女性の課長職を増やしているところ。また、男女関係なく人事を行っている。結果が出てくるまでもう少し待っていただければと思う。

#### ○地区活動について

(参加者)

- ・高齢化により、地区活動が維持できず減ってきている。市で何か支援や対応を行っているか。

(市長)

・コミュニティの維持は大事であり、市民活動等の支援策は考えていきたい。大学に絡めていえば、例えば大学生が授業の一環として大学キャンパスを出て、地区に出る。そして地域の課題を解決する取り組みを授業の中で組み込んでいくこともできるのではないかと考えている。

#### ○災害対策について

(参加者)

- ・災害対策について教えてもらいたい。

(市長)

・治水に力を入れている。災害に強いまちをつくり、それをPRすることで、人が来る、企業が来るまちになる。また、水との共生を見据えた都市構想についても考えている。二度の水害に見舞われたまちだからこそできることを考え、ピンチをチャンスに変えていきたい。

